



トンボ玉作り体験

古くは縄文時代末頃の遺跡からも発見されているトンボ玉。弥生時代には技術も伝わり、日本の工房でも作られていました。

無地や点々・縞模様など様々なデザインや形のトンボ玉が発見されていますが、今回は模様入りのトンボ玉とガラスの勾玉を巻き取り式で作ります。トンボ玉の歴史・文化を学びながら、オリジナルストラップを作りましょう。勾玉がうまく出来なかったら丸く仕上げれば問題なし！



制作の様子



平林2号墳（笛吹市）出土
トンボ玉

製作例

- 日 時 令和5年4月22日(土)・23日(日)
各日 1回目 9:00~10:50 2回目 11:00~12:50
3回目 14:00~15:50
- 場 所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方 各回2名ずつ 計12名
- 参加費 1名1,200円 (教材費・保険料:参加時にお支払いください)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。
定員になり次第締め切ります。
- 申込受付 令和5年3月23日(木)より受付開始
- 持ち物等 肌の露出の少ない安全な服装、エプロン等、メガネ等(お持ちの方、目の保護用)
- 申込先 風土記の丘研修センター
甲府市下向山町1271
電話055-266-5286
開館時間:8:30~17:00
休館日:月曜日

